

ふりがな 氏 名	きし あゆみ 岸 あゆみ	職 名	講師
取 得 学 位	修士(臨床人間科学)	学会での受賞歴	日本創造学会論文賞(平成 26 年 3 月)
主な担当科目	基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学演習Ⅱ、基礎看護学演習Ⅲ、フィジカルアセスメント、看護過程、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、基礎ゼミナール、看護倫理・生命倫理		
所 属 学 会	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護管理学会、日本看護技術学会、日本創造学会、日本看護学教育学会、日本教育心理学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
倫理的感受性を育てることを意図し、アクティブラーニングを活用した授業を実施	令和元年度 10月～1月	「看護倫理・生命倫理」の科目において、学生が臨地実習で遭遇しやすい倫理的問題や実際に起こった医療裁判の事例などを題材にし、グループワークを行った。その成果を発表することにより、様々な考え方や価値観があること、話し合うことの大切さを学ぶ機会とした。
基礎看護学実習Ⅰの実習要項、実習記録、その他資料の作成および実習指導	令和元年度 8月～現在 に至る	8月に行われた基礎看護学実習Ⅰの実習要項や実習記録等を作成した。実習記録は事前学習した内容と、実際に臨地で体験し考えたことが繋がるように工夫した。また実習指導においては、初めての臨地実習で学生が看護師の役割、看護の対象である患者の生活について学べるよう、看護師長や臨床指導者との調整を行った。
基礎ゼミナール	令和2年度 8月	新型コロナの感染拡大により、病院での臨地実習が中止となり、それに代わる学内実習のプログラムを考案した。学生が実習で行う環境整備の場面を想定したシナリオを作成してロールプレイングを行ったり、ZOOM を使った実習先の看護部長による病院説明や外部講師を招いたのマナー講座等をプログラムし実施した。
	令和元年度 10月～1月 令和3年度 9月～1月	健康栄養学科と看護学科の1年生の混合グループに対し、アイスブレイクを取り入れながら、お互いに協力し合って調べ学習やグループ討議、発表資料のまとめ、発表が行えるよう指導を行った。
基礎看護学実習Ⅱの実習要項、実習記録、その他資料(記録の記載例、ルーブリック等)の作成および実習指導	令和2年度 2,3月～現在 に至る	基礎看護学実習Ⅱの実習要項や実習記録等の作成に協力をした。看護学科2年生前期科目である「看護過程」での学習内容を踏まえながら、作成を行った。また、新型コロナの感染状況を踏まえ、学生や受持ち患者、病棟スタッフの安全が守られるよう看護部や看護師長、実習指導者との打ち合わせを行い、調整を重ねた。
基礎看護技術演習Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅲ、看護倫理・生命倫理での e-ラーニングシステムを使用した遠隔授業や試験の実施	令和2年度 4月～1月	新型コロナの感染拡大を受け対面授業が中止となったことにより、本学の Glexa 等を使用し、作成した課題の提示や期末試験を学生に実施した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「看護倫理・生命倫理Ⅰ」の理解を深めるための授業用教材(パワーポイント)や動画を用いたの授業の実施	令和3年～ 現在に至る	教員が伝えたい内容が学生に明確に伝わるように、授業に使用するスライド教材をパワーポイントで作成した。看護を安全・安楽に行うための基礎となる看護技術については、ポイントをしぼった内容にし、講義内容を書き込めるようにしたノート用のスライド資料を作成し、学習の効果が上がるように工夫した。また、「看護倫理・生命倫理Ⅰ」では、スライド資料を配布するとともに、動画を使用し学生がイメージできるよう工夫し理解できるようにした。
「看護学研究ゼミナール」において、卒業研究の指導を実施	令和4年～ 現在に至る	2名の学生を担当し、定期的な面接やe-mailの利用による指導を行い、文献研究を行い卒業論文を完成させた。課題遂行に苦慮している学生には、資料の提供や思考の整理を行うなどして、研究テーマの決定から文献検索、文献クリティーク、研究計画書の作成、卒業論文の執筆、プレゼンテーション資料の作成まで、一連の過程において丁寧に関わるよう心掛けた。また、担当した学生2名に対しては、就職活動や国家試験対策についても支援を行った。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	教育担当者のレディネス～病院に勤務する教育担当者の語りから～	共	令和4年 4月	インターナショナル Nursing Care Research 第21巻1号 PP41-50	春藤友香、 <u>岸あゆみ</u> 、竹田千佐子
学会発表	「一皮むけた経験」から探る教育担当者の成長を支えるもの	共	平成30年 12月	第38回日本看護科学学会(松山)	春藤友香、 <u>岸あゆみ</u> 、竹田千佐子 示説
	「模倣段階」にある看護学生の看護技術の視聴覚教材を“観る力” — 講義前の動画視聴に焦点をあてて—	共	令和2年 12月	第40回日本看護科学学会(オンライン)	<u>岸あゆみ</u> 、増田富美子、林由利江、春藤友香 示説
	テキストマイニングによる看護学生の講義前、演習前、演習後の無菌操作 DVD 視聴中の語りの分析	共	令和2年 12月	第40回日本看護科学学会(オンライン)	増田富美子、 <u>岸あゆみ</u> 、春藤友香、林由利江、竹田千佐子 示説
	看護学生の講義前、演習前、演習後における視聴覚教材を「観る視点」の変化	共	令和3年 12月	第41回日本看護科学学会(オンライン)	<u>岸あゆみ</u> 、増田富美子、春藤友香、竹田千佐子 示説